



歯の根っこの新しい治療法『歯髓回復治療』

虫歯が進むと、「ズキズキ」一日中痛むようになります。

そうすると、歯医者さんでは…

するところからが大変！麻酔をして歯にガ〜っと穴を開けられ、針の様な器具を突っ込まれます。さらに一旦神経を抜いて根っこの治療に入ると、しょっちゅう通院しなくてはなりません。

毎回ちびちびとお薬交換などを経て、何か月か通ってやっと最終的なお薬を詰めて…かぶせ物まで完成して一段落したと思ったら、何年後かにまた再発して、また治療…というパターンが非常に多いのが神経を抜く&根っこの治療です。

神経を抜くなどの根っこの治療

それではまず、『神経を抜くなどの、根っこの治療』についてご紹介いたします。

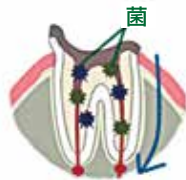
歯髓について

歯の中には神経と血管の入った袋(歯髓)があります。これは顎の骨の中に神経と血管の太い本幹が走っていて、それぞれの歯に枝分かれして入っています。



虫歯の進行で…

虫歯が深くなり、歯がどんどん溶かされてゆくと、やがて歯髓へと歯が到達します。



歯髓が腫れる

感染した歯髓は炎症を起こします。つまり歯の中で歯髓が腫れてしまいます。するとズキズキ痛んでくるという仕組みです。



こうなると通常の歯科治療では、神経を抜く(抜髓)と言われる方法を取ります。厳密には歯の中に入っている部分の歯髓のみを切り取ります。ですので骨の中を走る神経と血管の本幹は生きています。

時々神経を抜いたはずなのに痛いということがありますが、これは骨の中の神経が生きていますからです。しかし神経を抜いた(抜髓した)歯は“死んだ歯”となります。

死んだ歯は枯れ木と同じです。生きて木は力を加えても、しななって折れません。しかし枯れ木は力を加えると、折れてしまいます。死んだ歯も同じで、折れたり割れたりしやすくなります。折れたり割れたりした歯は、ほとんど抜歯になります。

「神経」を
抜くまじやう…!



当院の『歯髓回復治療』なら 歯を生かしたまま残せる!治療回数が大幅に減る!

当院クリニックのモットーである、“抜かずに歯を残す”ためにも、少しでも神経も抜きたくありません。しかしなかなか一度感染を起こした歯髓の治療は困難であり、今までは抜髓が一般的な治療法でした。そこで当クリニックは特殊な薬剤を用いることで、感染を起こして痛みが出てしまった歯を、抜髓せずに治す治療方法を考案いたしました。実際にたくさんのお患者さんに施術し、大変喜ばれています。

神経を抜かない(抜髓しない)ので、歯を生かしたまま保存することができ、歯の寿命が長くなります。

さらに治療期間や回数が大幅に縮まりますので、時間的・経済的負担が少なくなります。

一度神経を抜いた歯は、もう元に戻りません。歯を救うチャンスは一度しかないのです。ぜひお勧めしたい治療法です。

医療法人 鳳珠会 **西宮・医科 歯科 クリニック**

■住所:〒662-0942 兵庫県西宮市浜町10-11 東鶴マーケットスクエア1F
※なお、このリーフレットは患者さんのみを対象として院内限定での配布、説明の目的で作成されており、広告に該当しません。

診療予約・お問い合わせは

TEL : 0798-78-7879

<https://nishinomiya-mc.com>

